

「この鼓動は、一人では鳴らせない。」

丸森の地から全国へ。背中を押してくださった全ての皆様に、深く感謝を込めて。
多大なるご支援を賜りました皆様の温かいご声援を胸に、全国大会の舞台でも全力の鼓動を響かせてまいります。

株式会社春日部組

仙台キワニスクラブ
仙南サテライトクラブ

株式会社本田組 とくら太鼓保存会 窪田電気工事株式会社

一般財団法人 丸森町観光物産振興公社 青葉建設株式会社 亘理土地開発有限会社

有限会社カーライフブレンド 有限会社カーショップエフ フロンテック PRO 株式会社

丸森町商工会 有限会社鈴木工務店 船山建設株式会社 遠正建設株式会社

株式会社サトウ精肉店 有限会社小野商店 有限会社霜山畳工業所

丸森物産いちば 八雄館 まるもりデザイン

くつろぎ処 七五三屋 くつろぎ処 七五三屋 870 株式会社石の照真 ホルモン屋たまりば

湯朝電気株式会社 有限会社カンノ広芸 写真工房ムラカミ 株式会社津田印刷

ローソン角田中央店 白龍建設 小形輪業商会 有限会社菊地石材店

セブンイレブン丸森館矢間店 スエヒロ時計店

宮城県太鼓連絡協議会

個人サポーターのみなさま

- 協力 -

株式会社 Wasshoi Lab

蔵の郷土館齋理屋敷

結成
5周年
記念

丸森夢太鼓定期公演
全国大会出場壮行演奏会

- めぐり、つながり、かえりゆく -



Y U M E S A I
2 0 2 6



2026 3.8 日

13:30 開場 14:00 開演

えずこホール（仙南芸術文化センター）

主催：丸森夢太鼓

YUMESAI 2026 BEAT OF DREAMS MARUMORI YUMEDA IKO

めぐり、つながり、かえりゆく

丸森の豊かな山々が雨を育み、阿武隈川へと流れ、やがて大地を潤すように。
私たちの打つ太鼓の響きもまた、この町で「めぐり」続けてきました。

結成から 5 年。

一人ひとりの一打が重なり、大きなうねりとなって地域の方々と「つながり」、
多くの笑顔と声援に支えられながら、私たちは今日という日を迎えることができました。

受け取った温もりを音に変え、また誰かの心の糧として「かえりゆく」。
この循環こそが、丸森夢太鼓の誇りです。

本日は、3 月に控えた全国大会への決意を胸に、
未来へと続く新しい「響き」を打ち鳴らします。
私たちの夢が、皆様の心へと深く届きますように。

丸森夢太鼓 代表 菅野 香名

一幕

出演

利府太鼓
涌谷太鼓
丸森夢太鼓

二幕

出演

平澤真悟
中村卓也
千葉怜

丸森夢太鼓

2021 年、丸森町内の小学生を中心に発足。

結成から 5 年、「太鼓を通じて、まち・人・地域をつなぐ」をテーマに、仲間とともに挑戦を重ね、確かな成長を積み上げてきた。丸森町最大のイベント「齋理幻夜」や「丸森いち」など、地域の舞台に継続して出演。演奏活動を通じて地域との交流を深め、文化の継承と発展、まちの活性化に貢献している。「日本太鼓ジュニアコンクール宮城県大会」では 2 連覇を達成。その歩みの先として、2026 年 3 月、全国大会へ出場決定。結成 5 年という節目の年に、次なる挑戦へと歩みを進めている。

いくつもの夢が、今日の一打につながる。丸森夢太鼓の挑戦は、これからも続く。



太鼓
千葉 怜

5 歳よりバチを握り、和太鼓の世界へ。2007 年、9 歳で日本太鼓 Jr. コンクール宮城県大会優勝を果たし、その後数々の大会にて賞を獲得。17 歳より本格的に活動を開始し、アメリカ、ヨーロッパ、アジア各国での公演を行うなど、海外への発信も積極的に行う。その演奏スタイルは、和の響きを基盤としながらも、極めて現代的かつ独創的である。J-POP やジャズ、男子新体操など異ジャンルとのコラボレーションなどジャンルの垣根を超え卓越したリズム感と感性で自由自在に空間を操る。近年は「奏者」の枠を超え、総合演出家・プロデューサーとしても手腕を発揮。コンサートの企画演出や空間演出を多数手がけている。また、その活動は「大阪・関西万博」関連プロジェクトへの参画へと広がりを見せ、日本の文化を未来へ繋ぐ重要な役割を担う。太鼓の持つ無限の可能性を追求し、次世代に残すべき日本の「響き」と「景色」を世界へ発信し続ける、若き太鼓奏者であり、創作者である。



津軽三味線
中村 卓也

兵庫県姫路市出身。沖縄の伝統芸能「エイサー」を一歳より始め一歳半で初舞台に立つ。三味線、和太鼓を祖父 中村泰三に師事。民謡鳴り物・美鶴流囃子方家 元美鶴 直三朗氏に師事。津軽三味線を三絃小田島流 二代目小田島 徳旺氏に師事。津軽三味線の深い魅力を学ぶとともに、自身の演奏スタイルを築き上げる。全国に活動の幅を広げ、滋賀県で開催された全国大会で初優勝した。翌年には、全国規模の大会で高校生の部や大人を含む一般の部に出場し相次いで制覇した。本来の民謡、古典芸能の迫及はもちろんのこと、幅広い世代に三味線の魅力を伝える。近年では、民謡・伝統芸能一家に生まれ育った二人によるプロジェクト、三味線ユニット「ROCKGEN - 六弦-」をスタート。全国を回るほか、舞踊や太鼓、尺八など多様な芸術との協演を果たし、多方面から注目を集める。津軽三味線の可能性を追い求める孤高の若き津軽三味線奏者である。



尺八
平澤 真悟

秋田県秋田市出身、仙台市在住。東北大学経済学部卒業。大学入学と共に尺八と出会い、都山流の伝統技法を驚異的な早さで習得。在学中に准師範登第を果たし、2021 年国際尺八コンクールでは銀賞を受賞するなど、若くしてその才能を開花させる。その活動は古典邦楽の継承に留まらず「伝統と革新の融合」をテーマに、ピアノやヴァイオリンなどの洋楽器、和太鼓、さらにはプロジェクションマッピングとの共演など、ジャンルの垣根を超えたクロスオーバーなパフォーマンスを展開。確かな技術に裏打ちされたその音色は、竹本来の素朴な響きを保ちながらも、現代の音楽シーンに鮮やかに溶け込む。近年は「仙台クラシックフェスティバル」への出演や「東北絆まつり」CM 楽曲参加など活躍。伝統と革新を自在に行き来し、尺八を通じて深淵なる和の世界を現代に問い続ける、尺八演奏家である。



利府太鼓

宮城県・利府町を拠点に活動する利府太鼓は1990年に発足。“Unleashing the Power of BEAT”。一打一打に宿る熱量、身体を通して放たれる音の波、そして観る者を巻き込む圧倒的な一体感。利府太鼓のステージは、単なる演奏にとどまらず、五感を揺さぶる“体験”であり、“衝撃”である。その表現力は高く評価され、各種太鼓大会・フェスティバルにおいて入賞・受賞歴を重ねるなど、競技・舞台の両面で確かな実績を築いてきた。培ってきた技術と表現力は、次代の和太鼓シーンを担う存在として注目を集めている。活動のフィールドは、地域の祭りや式典にとどまらず、公共施設での公演、観光イベント、さらには教育・福祉分野との連携など多岐にわたる。地元の自然や文化と共鳴しながら、利府というまちのアイデンティティを「音」で発信し続けている。太鼓は、言葉を越える。太鼓は、時代を超える。太鼓は、まちをつなげる。利府太鼓は今日も、音の力で世界を揺らし続ける。



涌谷太鼓

涌谷太鼓は涌谷町に位置する城山公園の太鼓堂への大太鼓老基の寄贈をきっかけに昭和 60 年、子どもを中心としたチームとして結成。以来 40 年、地元涌谷町のお祭りや地域行事をはじめ、県内外の様々なイベントへも活動の場を広げ、子どもたちの元気溢れる演奏と、世代を超えた息のあった演奏によって、多くの人に和太鼓の魅力と涌谷町の元気を届けてきた。演奏技術の向上のみならず、和太鼓を通して礼儀やあいさつ、仲間を思いやる心といった子どもの育成にも力を入れており、先輩が子どもたちを支え、教え合いながら成長できる環境を受け継ぎ続けていることが涌谷太鼓の魅力である。過去には県大会優勝、東北大会 4 位入賞などの実績を有しており、今年も東北大会に出場し 6 位入賞を果たすなど、着実な成長を続けている。涌谷太鼓はこれからも、地域への感謝を胸に、「涌谷太鼓の音」を大きく響かせ、人々の心を打ち、子どもたちの成長とともに歩み続ける。

テクニカル		出演		スチール	
トムラシシステム有限公司 -Tomura System Ltd.-		丸森夢太鼓 -Marumori Yumedaiko-	千葉 怜 -Rei Chiba-	柴田 楓子 -Fuko Shibata-	岡崎 匡人 -Masato Okazaki-
音響		利府太鼓 -Rifu Daiko-	中村卓也 -Takuya Nkamura-	サポート	
戸村 匡志 -Tadayuki Tomura-	戸村 義幸 -Yoshiyuki Tomura-	涌谷太鼓 -Wakuya Daiko-	平澤 真悟 -Shingo Hirasawa-		
照明		丸森夢太鼓親の会 涌谷太鼓親の会			
佐藤 友貴 -Yuki Sato-					
演出		主催			
千葉 怜		丸森夢太鼓			